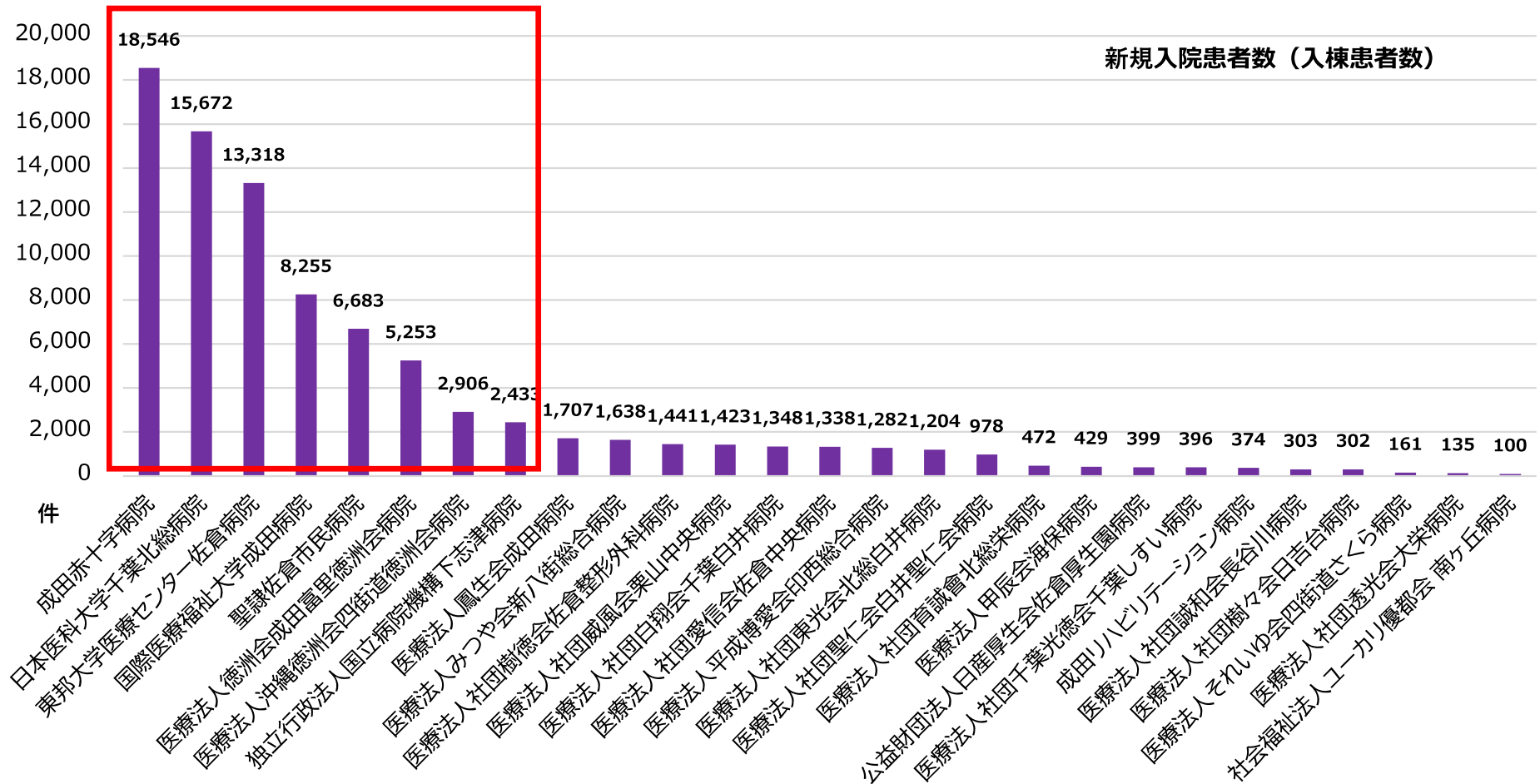


医療機関別 入院新規患者数(年間入棟件数)

入院患者

年間入棟患者数2,000名以上：8 医療機関。

印旛医療圏 年間新規入棟件数



循環器疾患患者を多く擁しているのは順に「成田赤十字病院」「佐倉病院」「聖隷佐倉市民病院」。
上位三病院すべてが、病院の所在医療圏からの患者が65%以上を占めていた。

上映のみで提示

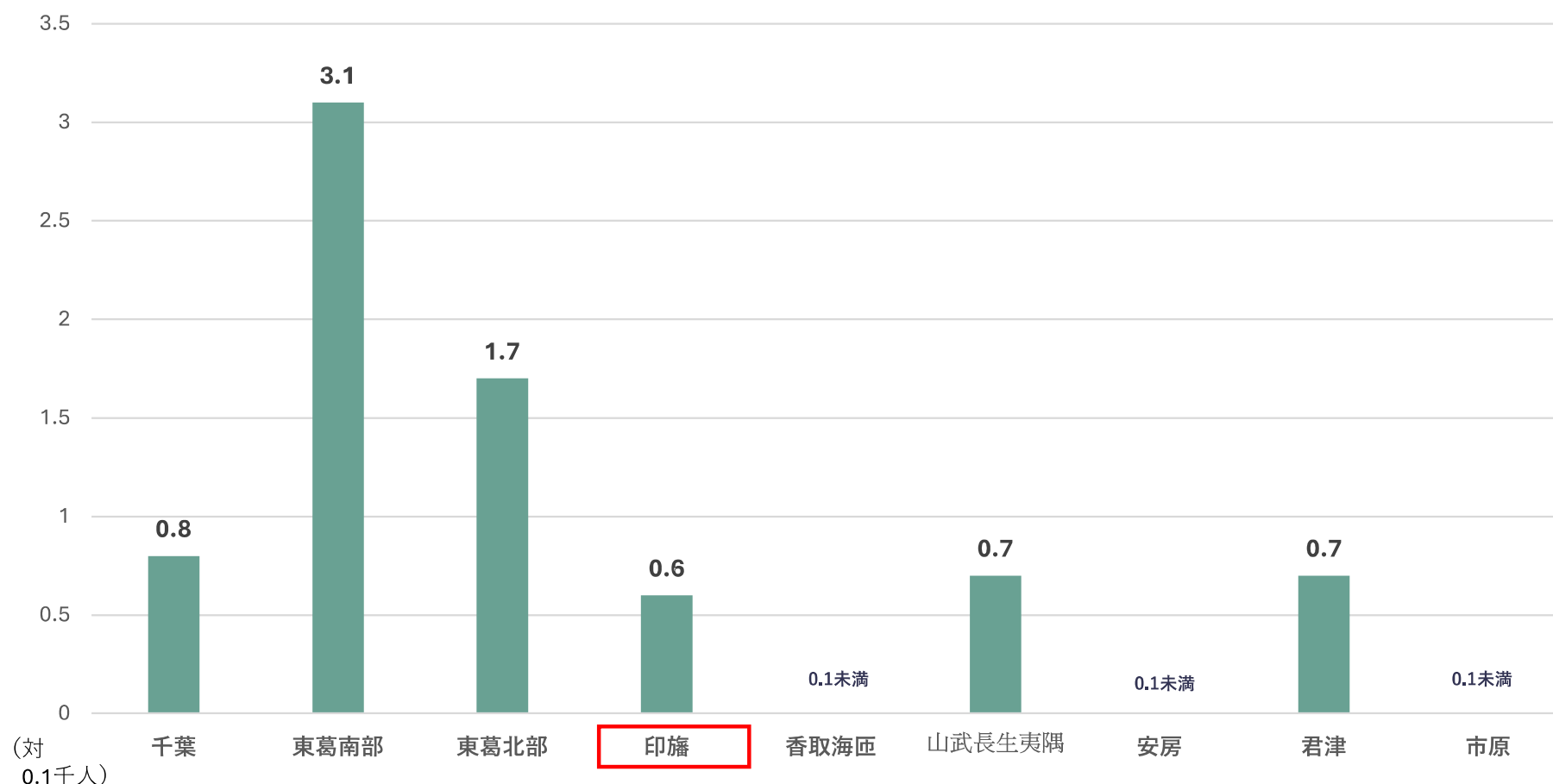
医療圏別 脳血管疾患により救急搬送を受け入れた患者数

5疾病：脳血管疾患

脳血管疾患により救急搬送を受け入れた患者数は、千葉、山武長生夷隅、君津医療圏と同程度であった。

* H29年度指標が最新となる

脳血管疾患により救急搬送を受け入れた患者数



香取海匝、安房、市原については、0.1千人単位(1-499人までは0と表記)での集計のため、0.1未満と表記している

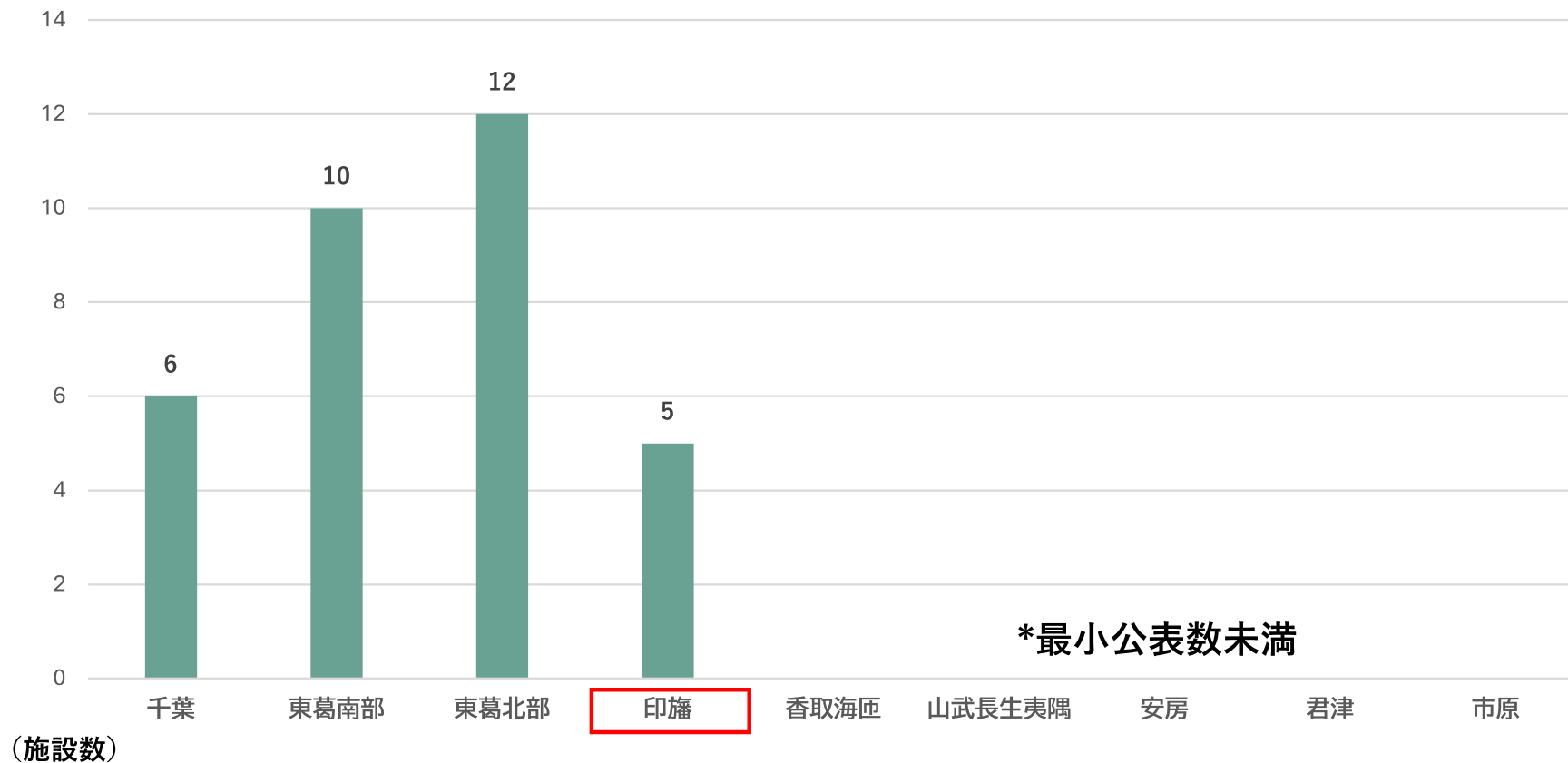
出典：医療計画作成支援データブック2023(R5)年度収載：患者調査2017年(H29)

* 本調査では、対象期間となる3日間のうち病院ごとに指定した1日を調査対象としている

千葉・東葛北部・東葛南部・印旛に脳梗塞の血栓回収療法実施可能な医療機関数は5施設以上ある。その他の医療圏では2施設以下である。

医療計画上の重点指標

脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数



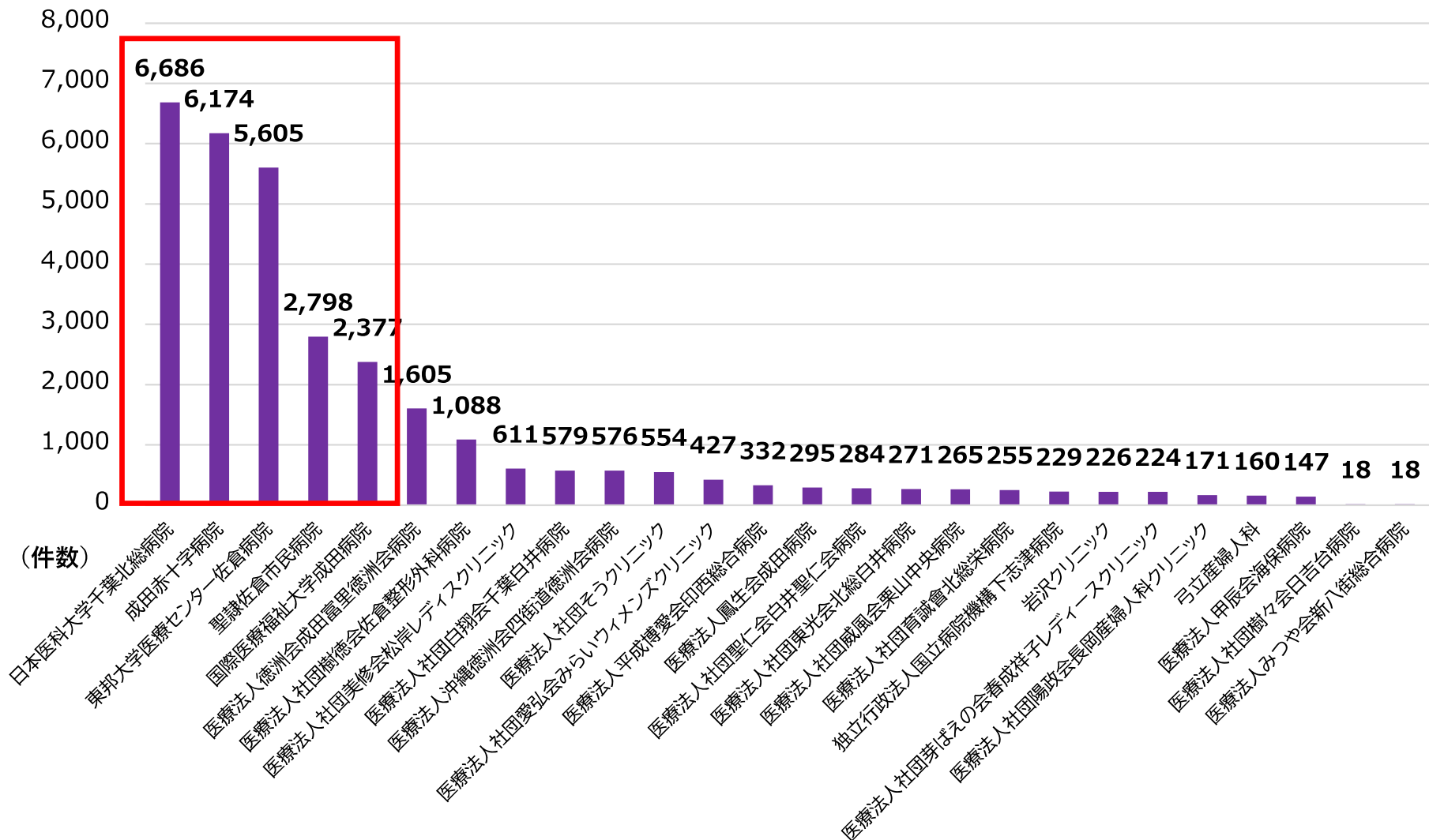
出典：R5医療計画作成支援データブック

(R4年度NDB ICD脳梗塞&経費的血管回収術の算定のある医療施設数)

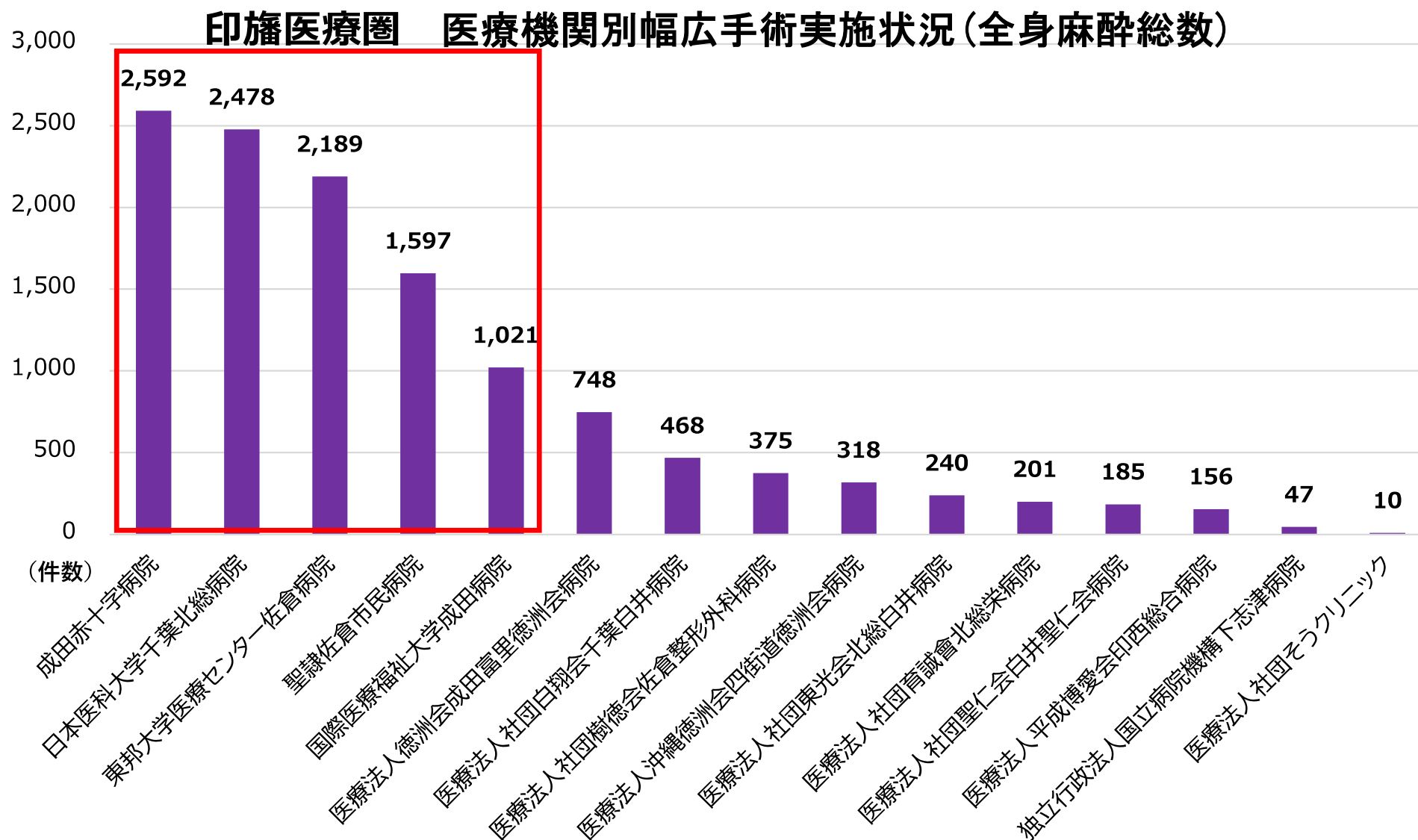
*2以下の数値については最小公表数を下回るためデータが欠損している

2,000件以上の実施：5医療機関

印旛医療圏 医療機関別幅広手術実施状況(手術総数)



1,000件以上の実施：5医療機関



全身麻酔（脊髄くも膜下麻酔含む）における高難易度手術件数

手術件数

東邦大学医療センター佐倉病院、成田赤十字病院の高難易度手術件数は横ばいである。

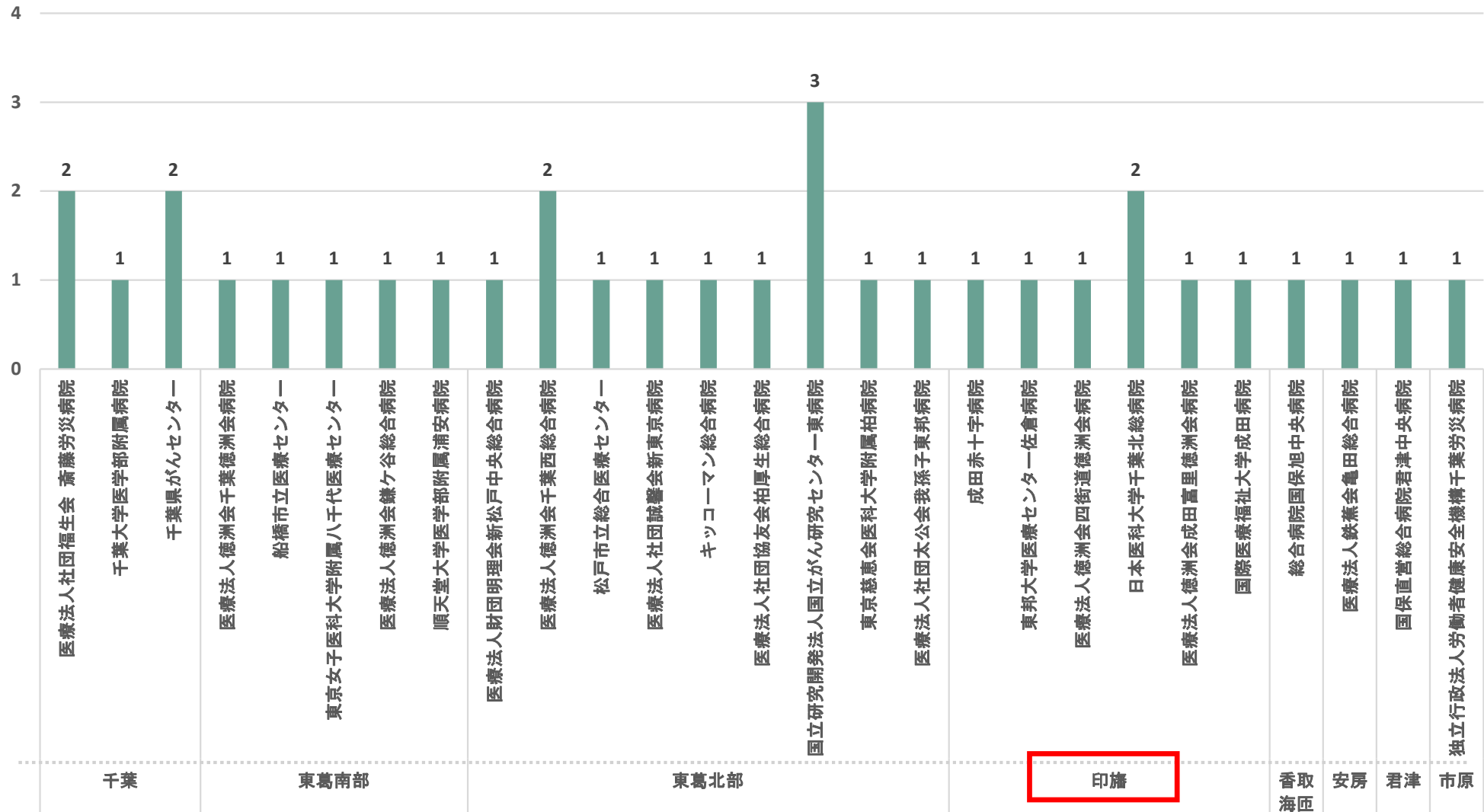
上映のみで提示

医療圏別 内視鏡下手術支援ロボット(da vinci)の台数

医療機器

県全体で33台、保有施設数は27施設である。印旛医療圏には7台保有。

内視鏡手術用支援機器(da vinci)台数



二次医療圏救急流入例・流出例の件数の考え方

考え方

5事業：救急

二次医療圏内の病院に搬入された件数の合計



二次医療圏内の消防機関が出動した件数の合計

計算式 流入例の件数 = 圈内收容(搬入)例の件数 - 圈内発生・圈内收容例の件数

流出例の件数 = 圈内発生(出動)例の件数 - 圈内発生・圈内收容例の件数

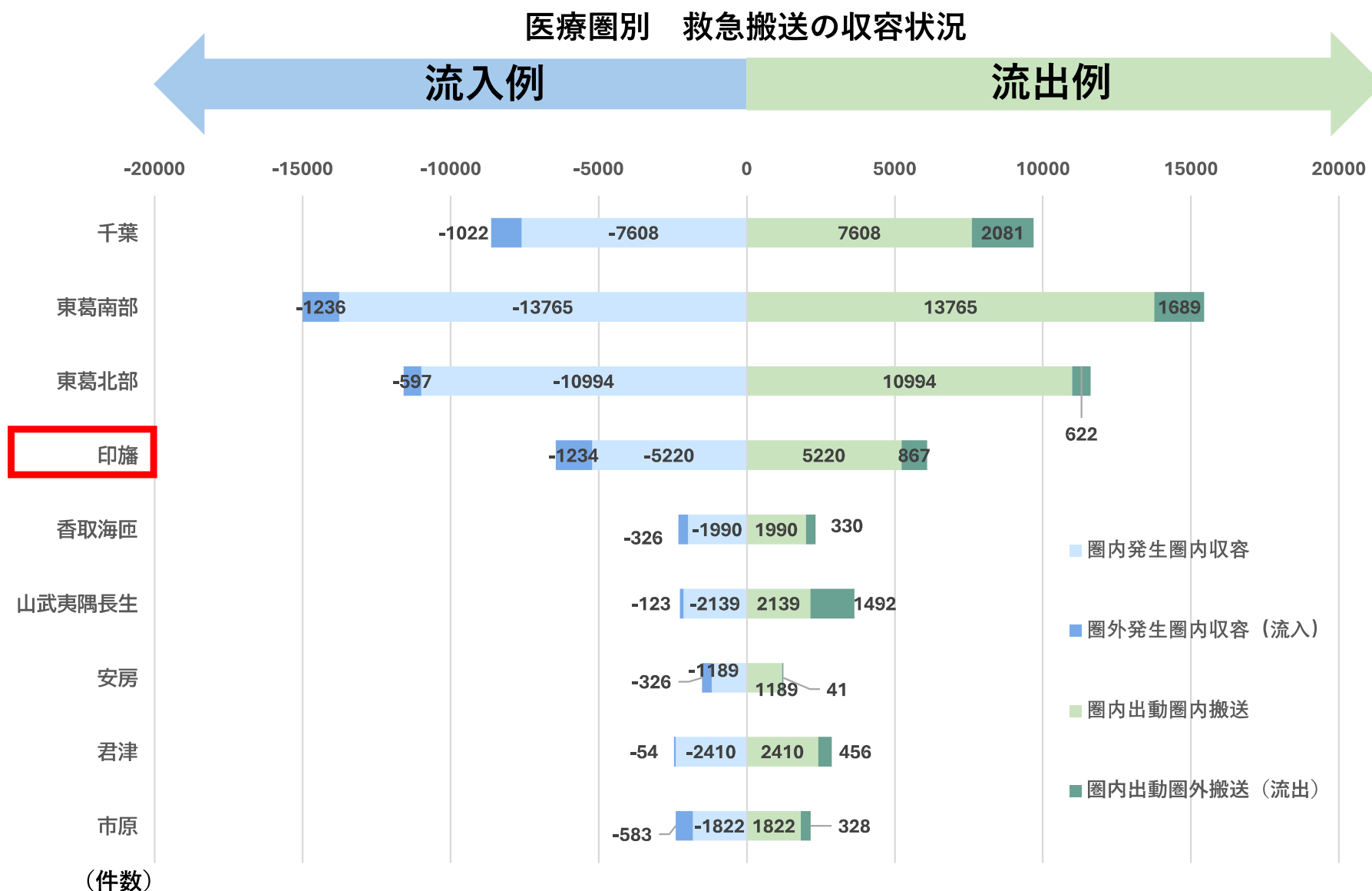
※本分析方法においては以下の問題点を内包するため注意を要する。

- ①千葉県外の発生事案において、他県の消防が千葉県内の医療機関に搬入した場合は千葉県救急搬送実態調査の対象外となる。
- ②医療圏内で收容される搬送のうち一部がカウントされていない場合がある。その場合は流出件数として計上されている。
- ③千葉県救急搬送実態調査の対象となる收容先医療機関(番号付与のある機関)に收容された事案のみを圈内收容と定義している。そのため、医療圏内での收容例であっても、クリニックや小規模病院の場合は圏外と同様にカウントされている。

救急搬送全体に占める流入・流出の規模と需給バランス

5事業：救急

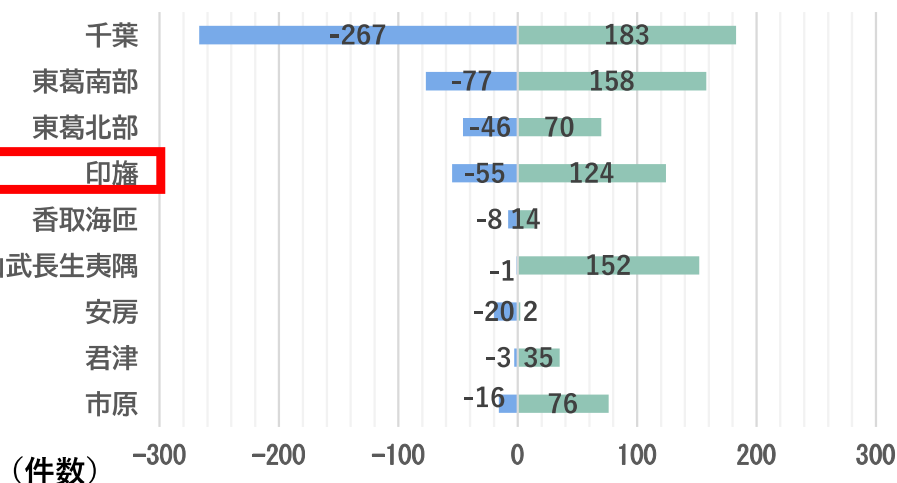
印旛医療圏は救急の規模は県全体において中位である。



医療圏別 救急搬送件数 年齢区分別流入件数

流入流出 小児 医療圏毎

■ 流入 ■ 流出

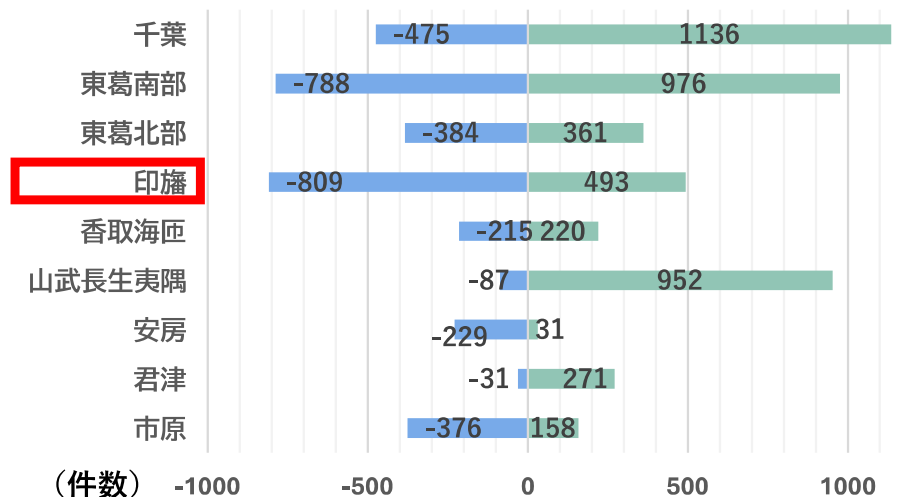


小児については流出件数が多い。

高齢者搬送は流入件数が多い。
65歳以上と75歳以上で区分した場合で同様の傾向となる。

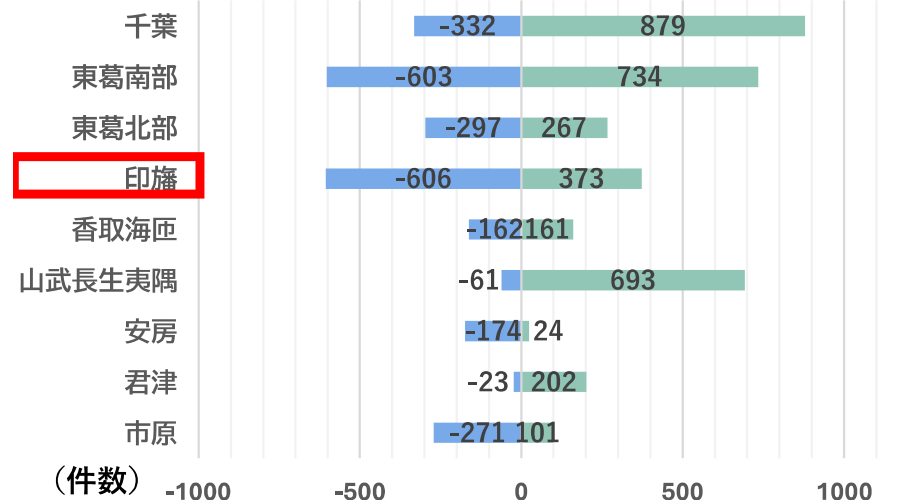
流入流出 65歳以上 医療圏毎

■ 流入 ■ 流出



流入流出 75歳以上 医療圏毎

■ 流入 ■ 流出



医療圏別 救急搬送件数 他医療圏への流出先の状況

5事業：救急

印旛医療圏の救急搬送事例6,087件中5,220件（搬送先が特定される範囲では87.7%,5,220/5,953）が自医療圏に搬送されており、733件が他医療圏に搬送されていた。件数では東葛南部医療圏275件、千葉医療圏273件の流出が多い。

出動件数 6,087件		搬送先医療圏	死亡	重症	中等症	軽症	その他	全傷病程度
医療圏内搬送	5,220	印旛(自圏)	37	412	2,396	2,372	3	5,220
医療圏外搬送 (他8医療圏)	733	千葉	0	25	116	132	0	273
		東葛南部	3	17	111	142	2	275
		東葛北部	2	14	59	55	0	130
		香取海匠	1	0	13	17	0	31
		山武長生夷隅	1	3	8	8	0	20
		安房	0	0	0	0	0	0
		君津	0	0	0	0	0	0
		市原	0	2	1	1	0	4
		(小計)	(7)	(61)	(308)	(355)	(2)	(733)
(5,953搬送先確定件数)								
収容先不詳	134		0	8	47	77	2	134
	6,087		44	481	27,51	2,804	7	6,087

* 収容先不詳：県内のクリニックや小規模病院（千葉県救急搬送実態調査で番号が付与されていない病院）や県外の病院

千葉県全体の「下り搬送」*の現状

5事業：救急

千葉県内 全転院転送例		転出先			
		救命救急センター	救急基幹センター	その他医療機関	合計
転出元	救命救急センター	132	17	390	539
	救急基幹センター	27	10	31	68
	その他医療機関	1475	88	1710	3273
	合計	1634	115	2131	総計 3880

下り搬送合計438件

R5年9月10月の全搬送例55,044件中
 転院搬送例＝3,678件 転送例＝202件 合計3,880件*。
 高次救急医療機関から「下り搬送」は438件(11.3%)であった。

<転院搬送例>

医療機関(転院元)から出動要請例があり、転院先に救急車で搬送した例。



<転送例>

現場出動した救急車が収容元医療機関を介して転送先医療機関に転送した例。



現状、下り搬送は見える化できていない。R6年診療報酬改定で新設された救急患者連携搬送料**の影響で次年度から下り搬送の増加が予想される。見える化の方策を検討してはどうか。

*本資料における「下り搬送」の定義

転院搬送の理由、転送の理由の欄は記載漏れが多い。

このため、今回は救命救急センターから救急基幹センターおよびその他の医療機関、もしくは救急基幹センターからその他の医療機関への転院搬送と転送を、「下り搬送」と定義して、解析した。本調査では期間日数の記載欄がないため、この評価を成しえていない。

**救急患者連携搬送料(R6年診療報酬改定)

「三次救急医療機関等に救急搬送された患者について連携する他の医療機関でも対応が可能と判断する場合に、連携する他の医療機関に看護師等が同乗の上で転院搬送する場合の評価。」入院後3日目以内の転院・転送が算定対象(600～1,800点)とされる。

今回の調査では、初回收容後転院までの日数を特定できないことが課題となる。

印旛医療圏における「下り搬送」*の見える化の試み

成田赤十字病院においては、全収容例1,239中件中「下り搬送」事例は9件(0.73%)であった。日医千葉北総病院においては、全収容例676件中「下り搬送」事例は8件(1.18%)であった。

成田赤十字病院		転出先	
		救命救急センター	その他医療機関
転送	手術中・患者対応中	0	0
	満床	0	0
	処置困難	0	2
	専門外	0	1
	医師不在	0	0
	応急処置目的の立寄り	0	0
	初診(かかりつけ医なし)	0	0
	下り搬送	0	0
	理由不明その他	0	0
転院	容態悪化	2	1
	専門外	3	2
	満床	3	0
	容態安定	1	2
	理由不明その他	1	1
合計		10	9

日本医大千葉北総病院		転出先	
		救命救急センター	その他医療機関
転送 (理由)	手術中・患者対応中	0	0
	満床	1	0
	処置困難	1	0
	専門外	0	0
	医師不在	0	0
	応急処置目的の立寄り	0	1
	初診(かかりつけ医なし)	0	0
	下り搬送	0	0
	理由不明その他	1	3
転院 (理由)	容態悪化	0	0
	専門外	1	1
	満床	0	0
	容態安定	0	3
	理由不明その他	1	0
合計		5	8

本調査からの情報のみでは「下り搬送」の現状を評価するには至らない。R6年診療報酬改定で新設された救急患者連携搬送料及び働き方改革によるの影響により、今後は下り搬送が増加する可能性があり、見える化の方策を検討してはどうか。

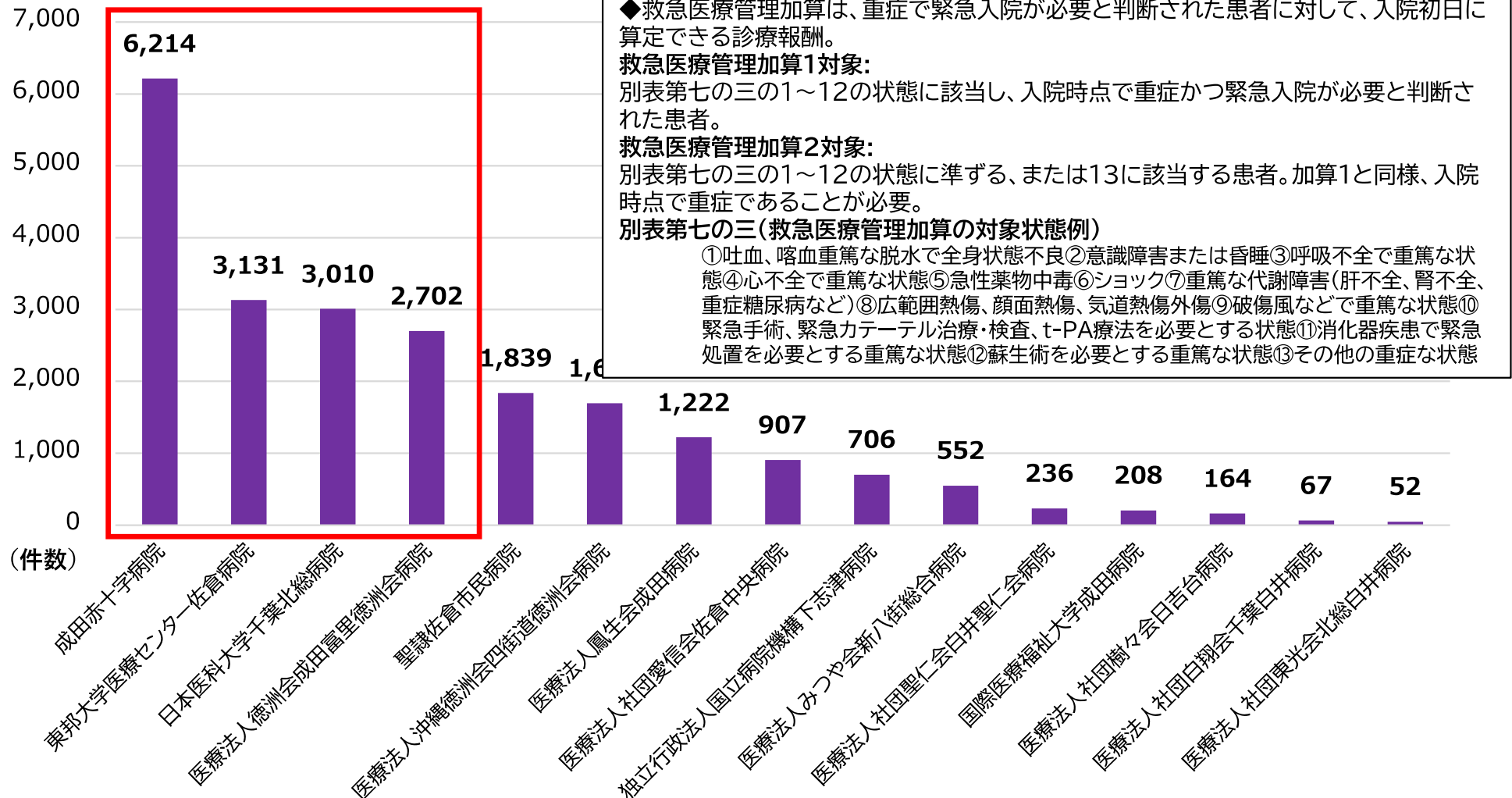
*本資料における「下り搬送」の定義

転院搬送の理由、転送の理由の欄は記載漏れが多い。

このため、今回は救命救急センターから救急基幹センターおよびその他の医療機関、もしくは救急基幹センターからその他の医療機関への転院搬送と転送を、「下り搬送」と定義して、解析した。本調査では期間日数の記載欄がないため、この評価を成しえていない。

年間2,000件以上算定：4医療機関

印旛医療圏 救急医療管理加算 1 及び 2



出典：病床機能報告オープンデータ2021(R3)年度

※病院による報告データのため一部データが不足している可能性がある

成田赤十字病院・千葉北総病院が受け入れている。

